

内務省土木局長の交迭

丹波 老人

○ 大塚警保局長と丸山警視總監の二人が貴族院議員に勅選されたのを動機に、若槻内閣最初の地方長官の交迭が行はれた。之を色々に批評する人もあるが、假令一部に非難すべき點があつても又夫れを補ふだけの効果があれば公平な立場から見ても餘り攻撃する程でも無い、夫れは夫れとして我が土木局長三邊長治氏が地方局長に榮轉し、埼玉縣知事の丹羽七郎氏が其の後を襲つて土木局長の椅子に就いた。何れも適材適所の配置であつて相當に練られた人事と言つて可い。

○ 三邊氏が土木局長となられたのは、民政黨内閣が組織さ

れた四年七月であつて、恰度一年と九ヶ月の在任であつた政友會内閣のやうに積極政策を採る内閣の下では、土木局長の職務乃至地位は随分面白い愉快な地位であるが、消極主義の下に施政する民政黨内閣の下では、從來樹立された土木事業の計畫までも個人的な本心に反してまで繰延べなければならぬのは不快である。第一次憲政會内閣時代に土木局長であつた長岡隆一郎氏が、自ら繰延削滅居士と言はれてゐたのも矢張り不快味の代へ詞である程に辛いものである。我が三邊氏は此やうな雰圍氣の裡にあつても愉快に良く活動された。

○ 之を我が路政だけに就ても尠なからず成績が遺されてゐる。人は内務省が鐵道省に敗けたのぢやと言つてはる

るが、永年間に鐵兩省の懸案であつた自動車道路の問題も片付け、失業救済道路改良事業を計畫し我國始まつて以來の大道路事業が全國に亘つて執行されるやうに爲つたのも氏の顯著な成績である。河川行政に就て見ても、大正十一年頃から問題と爲つて天下の視聽を集めて居た大同電力と庄川水力電氣の二會社と飛州木材會社と抗争してゐた庄川水利問題を解決し、大正十年頃から起つた木曾川支派川改修に基因して騒動した犀川問題を、地方民談笑の間に片附けた手際の鮮かさは、今も尙稱えられてゐる。安達内相がモ一土木局長の仕事は之で終つたぢや無いかと嘆賞したやうに積年の難問を解決された。逓信省乃至は電氣事業者の一派が横暴にも目論んだ、例の發電水利權統制の問題に就ては、得意の理論を振り廻して木端微塵に叩き潰した其の奮戦振りには氏でなければ出來得ない仕業であつた。河川法の改正問題に就ても随分と研究もし其の成案を急がれてゐたが、之を解決されずに轉任されたのは筆者の惜む所である。

人は氏を目して剛情で理屈が多いと言ふ、成程富山縣人であるから其の勢もあらう。併し夫れは地方局行政課長時代のことであつて、山梨や徳島乃至は岡山の知事の經驗を舐てからは確に性格は一變したやうだ、尤も性格を人に知られるやうな氏ではないから判かないが、兎も角土木局長時代は圓滿主義の持主であつた。君、人に悪く言はれる要は無いから自重し給へ」と部下に注意したものでちや、自動車交通事業法の制定に方つて鐵道省に弱かつたと言ふ非難のあるのも矢張り昔の三邊氏で無くなつたことを物語るものであらう。氏は帝大四十四年組の中でも頭惱の明晰なことに於て有名な人だけあつて、常に事案の結果を想倒してを注いでゐる唯一の法律家だ、之に反對して見たところが俺の方の大臣は副總理を以て任じてゐるから江木さんと喧嘩するやうな事はしない、で今の内に折合つて置く方が得策だと合點する位に將來を想倒する伶俐さである。

土木局長として氏が力を盡したのは失業救済道路事業で

ある。人或は次田大三郎氏の献策だなどと言つてゐるが、假令次田氏が献策したものにしても、此事業を成立せしめたのは何と言つても三邊氏の功績に屬する。由來民政黨の

院の豫算總會に於て政友會の路政通大口喜六氏などを向ふにして奮戦された其の勞苦に對して吾々は深甚の謝辭を呈するのである。

連中は原内閣が道路政策

を樹てたことに動機する

のかドーかは知らないが、

道路事業を眼の上の瘤

のやうに嫌がる、田中内

閣が計畫した産業道路事

業を不實行に終らしめた

やうに兎に角道路には餘

り熱が無い、其の舊來の

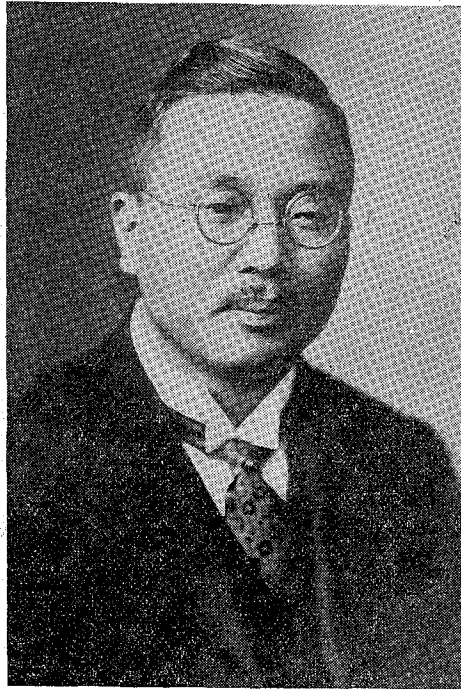
常態を打破して假令差迫

つた失業者救済の爲とは

言へ、政友會の目論見得なかつた程の大事業、年額二千七

百五十萬圓の道路事業を計畫せしめ政友會のお株を奪つた

のは三邊氏の畫策宜敷を得たものと言はねばならぬ、衆議



三邊長治氏

折角計畫された事業の

着手を見ないで地方局長

に轉じたのは心残りです

であらう、併し道路改

良に附隨する地方の起續

は又氏の厄介に爲らねば

ならぬ、併し之も矢張り

氏の發案に屬する事業の

實行に外ならないから多

分の同情を受け諒解を得

るに難くは無いであら

う。筆者は氏に依つて與えられた路政の幸福を心から喜ぶ。

○ 新任丹羽土木局長は、今更紹介するまでもない、つい此

間まで道路課長として令名を轟はれた人、併し知事として
の手腕は未知數だと言はれてゐたが、岩手縣知事時代に數
ある地方長官の中で異彩を放つた、と言ふのは農村政策に
しても銀行の救済問題に

しても本省の厄介をかけ
ずに自分の思ふやうに何
れも解決して成功したば
かりか、前知事が計畫し
て縣民の非難の下に残さ
れてあつた遊廓移轉問題
を難作なく却下した手際
などは、内務省の首脳部
を驚かした。醫師會の反
對を打破して、赤十字病

院を建て實費診療を開始しやうと考えたなどは地方のプロ
を喜ばした、内務省の幹部某氏が丹羽君はあれ程の人でな
いと思つてゐたが間違つたと筆者に物語つたことがある

が、蓋し丹羽氏の實力を知らなかつた幹部の丹羽觀の眞想
を物語るものであらう。

岩手で手腕を振つた氏は埼玉縣へ榮轉したが、事を策す



丹羽七郎氏

るの暇を與えないで本省
に戻らしめた、道路課長
時代に誰やらが土木局長
室に丹羽さんの顔を見る
のも餘り遠いことでは無
からうと言つたが、其の
豫想通りに販つて來た、
人は夫れを唯に幸運と言
ふであらうが、筆者は之
を運勢に任せて見たくは
ない、夫れは氏の鋭い頭
から案出される手腕が然らしめたもので偶然事でないから
だ、軀は細いが悠揚逼らないあの態度で、不偏不黨、是は
是、非は非と、事件をサラ／＼と決裁して行く鋭敏さは蓋

し近時の名局長である。此調子だから政友會の連中も九月の府縣會議員の選舉に土木事業を利用したと、政府を攻撃することも出来なく爲つたであらう。此度の人事が賞讃を博したのも丹羽氏を抜擢したことに在る、氏の入局を夢中に喜んでゐるのは獨り路政關係者ばかりでは無い、治め難いと言はれてゐる土木局の技術者も心から歓迎して土木行政の革新を期待してゐる。某縣の土木部長が江ノ島へ出張中交迭を報した夕刊を見て、思はずお膳を顛覆して喜んだと言はれ、夫れ程に歓迎されてゐるのは事實だ。

併し何事も消極的に動作せなければならぬ今の内閣で、世人を驚かすやうな土木事業を目論むことは縁木求魚の不可能事である、氏は之に對して如何に善處するであらうか、之は事務的にも政治的にも最も重視されてゐる處だ、之を我が路政に就て見ても失業救濟國道改良工事執行の難事があるばかりか、幾代かの土木局長が手を觸れ無かつた道路法制定以後の難題、私道法の制定が俟つてゐる、治水費の一部を割いて漸く認められた河川委員會の創設でも、之に動

機して我國河川行政の大改革が期待され、夫れから港灣法の制定と隨分大ものが残されてゐる。河川法にしても港灣法にしても、其の關係する所が頗る廣いので各省との權限爭議が豫想され難事を想はしむるのであるが、氏が往時行政制度審議會で自動車道路に關する鐵道省の意見を根底から打破つた其の鬪争力を再びすることに依つて解決するであらう又氏は例の名土木局長堀田貢氏の時代に河港課長の職に在つて、河川法の改正や港灣法の制定に方つて所謂丹羽案なるものがある位に研究されてゐるから氏の手腕に依つて之を解決する、必ずしも難事ではなからう。併し安達内相や與黨民政黨の連中をして、之を實現せしむるやうな氣運を造ることが頗る困難である。ドーか一骨折つて我が土木行政に畫期的の效績を遺して貰いたいものだ。